

## Press Release

2020年3月18日

### 岐阜大学とアステラス製薬 新たな細菌感染症治療法の創出を目指し 「ファージバイオリジクス研究講座」開設

国立大学法人岐阜大学(所在地:岐阜県、学長:森脇 久隆、以下「岐阜大学」)とアステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、岐阜大学大学院医学系研究科内に共同研究講座「ファージバイオリジクス研究講座」(責任教員:同大学院医学系研究科病原体制御学分野教授 永井 宏樹、中心となって研究を実施する者:アステラス製薬 Principal Investigator<sup>\*1</sup> 安藤 弘樹(特任准教授として岐阜大学へ出向))を開設しました。ファージバイオリジクス研究講座では、人工バクテリオファージ<sup>\*2</sup>を応用した細菌感染症治療法の共同研究を行います。講座開設期間は2020年3月から3年間となります。

ファージセラピーは、標的細菌に対して特異的に感染する自然界のウイルス(バクテリオファージ)の特徴を生かし、ウイルス由来の性質である殺菌性を利用して生体から細菌を除去することを目指した治療法です。近年、遺伝子改変技術の進歩により有用性・安全性を高めた人工バクテリオファージの研究が進展しつつあり、次世代ファージセラピー技術として注目されています。この技術は、既存の感染症に対する治療のみならず、難治性細菌感染症の新たな治療や、公衆衛生上の脅威である薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance)<sup>\*3</sup>の問題解決にも役立つことが期待されます。

岐阜大学大学院医学系研究科では、かねてより次世代ファージセラピーに応用できる人工バクテリオファージの研究を進めています。本共同研究において、臨床からの知見をインプットできるアカデミアの強みを生かしながら、アステラス製薬と産学連携を図ることで、複数の標的細菌に対する人工バクテリオファージの創出に取り組んでいきます。

アステラス製薬の VISION は、「変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変える」です。この VISION を実現するために、自社による研究開発と並び、提携やパートナーシップが重要な役割を果たすと考え、イノベーションやビジネス戦略に合致する提携機会を積極的に探索・評価しています。今回の共同研究講座開設もこの一環です。

岐阜大学とアステラス製薬は、本共同研究を通じて、人工バクテリオファージを応用した細菌感染症治療法において複数のリードプログラム創出に挑戦し、患者さんへ届けることに取り組んでいきます。

以上

\*1 **Principal Investigator (PI)**: アステラス製薬の研究専門職の一つ。

\*2 **人工バクテリオファージ**: バクテリオファージは、細菌(バクテリア)を食べるものという意味を持つ自然界に広く存在するウイルスであり、宿主となる細菌を攻撃するが、動物や人体には無害であることが知られている。人工バクテリオファージは人工的に作成した、特定の機能を持ったバクテリオファージのこと。

\*3 **薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance)**: 特定の薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効かない、あるいは効きにくくなること。

#### 国立大学法人岐阜大学について

岐阜大学は、県下唯一の国立大学法人であり、「人が育つ場所」という風土の中で「学び、究め、貢献する」人材を社会に提供することとし、法人自体も「学び、究め、貢献する」地域にとけこむ大学であるべきことを理念としています。岐阜大学は、全ての学部・研究科が1つのキャンパスにある特徴を教育・研究の両面に活かし、特に、高度な専門職業人の養成に主眼を置いた教育、教育の基盤としての質の高い研究、地域に根ざした国際化を展開します。さらに、これらの成果を地域還元することなどにより、地域社会の活性化の中核的拠点として、地方創生の一翼を担うこととしています。詳細については、(<https://www.gifu-u.ac.jp/>)をご覧ください。

#### アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

#### 注意事項(アステラス製薬)

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

#### お問い合わせ先:

国立大学法人岐阜大学  
総合企画部総務課広報室  
TEL: 058-293-3377 FAX: 058-293-2021

アステラス製薬株式会社  
広報部  
TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473